

名寄市立病院医誌第24巻第1号の発行にあたって

病院長 和 泉 裕 一

名寄市立病院医誌第24巻第1号が完成しましたが、幾つかの事情から例年より発行が遅れたことを皆さんにお詫び申し上げます。しかし、お読みいただければわかると思いますが、年々厚みを増し内容も濃いものになってきているように感じています。当院の activity を示す雑誌であることを考えると、とても嬉しく思います。あらためて、本誌に投稿して下さった皆様と編集委員に心からお礼を申し上げる次第です。

一般病院の使命は、日々の実臨床の医療であることは当然ですが、そのみならず、医療の質の向上のための恒常的な努力、スタッフ教育、将来の医療人育成も行っていかなければ進歩はないと思います。常に自己の成績・実績の検証を行いつつ、結果を臨床に生かしていくことが必要であります。そういう意味でも、少しでも本誌がその一端を担うことができばと思っています。ぜひ、今後もさらに充実した病院医誌になってゆくことを期待しています。

さて、いよいよ北海道の地域医療構想が策定され、今後の少子高齢化社会へ向けての医療提供体制の構築と種々の改革は待ったなしの状態とも言えます。人口減少と人口構成の変化に対応すべく、各地方においてより良い地域包括ケアシステム作りが求められています。これを進めるにあたっては、私たち自身が医療を取り巻く情勢と変革を熟知するとともに、患者さん、住民の皆さんにも十分理解していただく努力をすることも重要です。しっかりと向き合っていかなければならないと考えています。

医療提供体制の変革はありますが、道北地方における名寄市立総合病院の役割は今後も変わりないものと考えています。良質で安心・安全な医療の提供と、地域医療への貢献のため、職員一同、日々努力してゆきましょう。

(2016年10月28日)